

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	183 避難所誘導標識等設置推進事業	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本 施策	15 自然災害等への十分な備えをする	目	19	防災費
		細目	153	防災対策経費
		細々目	56	避難所誘導標識等設置推進事業
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード 300100 名称 総合危機管理室	担当者 氏名	亀井 英樹	連絡先 22 - 9640 (内線) 2322

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市民、物資等支援団体	※対象件数
成果(どうする)	市指定避難所の場所が、分かり易くなる。	
根拠法令・要綱等	三重県避難誘導標識等設置指針	
開始年度	平成 17 年度	関連事業
終了年度	平成 32 年度	
H22 事業 内容	H17年度、設置箇所32箇所 H18年度、設置箇所15箇所 H19年度、設置箇所 7箇所 H20年度、設置箇所 6箇所 H21年度、設置箇所 3箇所 H22年度、設置箇所 2箇所 合計箇所65箇所 避難所誘導標識等設置計画に基づき、市指定避難所への誘導標識の整備を図る。	
社会情勢 の変化等	市指定避難所 105箇所 誘導標識設置箇所 65箇所(61.9%) 今後の校区再編に伴う、避難所の見直しにより、新規、撤去、変更等が発生する。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	市指定避難所	105箇所
2 建設面積 (延床面積)		
3 規模・構造		
4 総事業費	22,327	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
誘導標識設置数	基		目標	3	目標	3
			実績	3	実績	2
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
誘導標識設置率	誘導標識設置箇所数	誘導標識設置箇所数	%	目標	60	目標	61
				実績	58	実績	61
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求	
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
Aの 財源 内訳	国庫支出金	930	967	840	1,806	
	県支出金		322	420	903	
	地方債					
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	0	645	420	903	
	事業投入人件費(B)	0.3人	2,160	0.3人	2,160	0.3人
フルコスト(A)+(B)		3,090	3,127	3,000	3,966	

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を達成するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	新設以外に、1箇所5基の改修箇所が生じたため。
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効果性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	避難所の変更や学校の統廃合の時期が異なると考えられるが、年度内の方は一括発注することによりコストを抑える。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 105箇所の市指定避難所のうち、2箇所の避難所に誘導標識を新設し、1箇所の避難所に表示板の修正を行った

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	橋本 浩三
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 災害時に安全で円滑な避難を行うため、引き続き、避難所誘導標識の整備を実施する。
現時点における課題、その他	避難所誘導標識の設置経費が高い。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	避難所の変更や学校の統廃合の時期が異なると考えられるが、年度内の方は一括発注することによりコストを抑える。